

目で見てチェック出来る。
話題のマウスウォッシュ

洗口液

Propolinse

プロポリンス

爽快な使用感!
息スッキリ!

なぜ?

口腔内のタンパク質汚れを
絡め取ります。

ご覧の通り、うがい後や
歯を磨いた後でも
お口の中のタンパク汚れは
残っています。
プロポリンスですっきり爽快を目指しましょう。

使用前

プロポリンスの
お口くちゅくちゅ20秒で
こんなに固まりが!

使用后

口腔ケアは成熟した日本のキーワード



歯周病とアルツハイマーの関係

アルツハイマーとは

アルツハイマー型認知症は、脳神経細胞の中にアミロイドβという脳のゴミが蓄積して、脳の神経細胞が死滅していくことが原因と考えられています。

歯周病との関係

「歯周病によって作られるLPSは、アミロイドβを増やす原因物質である可能性が高い」という研究が、国立長寿医療研究センター(愛知県大府市)、名古屋市立大学などの研究グループによって解明されたということです。その他では、たけしの家庭の医学!や大学病院・雑誌などの様々なメディアに取り上げられています。

研究論文や発表も次々に!

九州大学
 〒819-0300 福岡市中央区 2-1-1
 TEL: 092-863-3111 FAX: 092-863-3114
 MAIL: info@kyushu-u.ac.jp URL: http://www.kyushu-u.ac.jp

歯周病菌の出す組織破壊酵素が脳内βアログリア活性化の引き金に ～アルツハイマー病を悪化させるβ分泌素の発現調節を解説～

九州大学大学院歯学研究所の武 栄康教授らとびじろ 博也氏の研究グループは、歯周病関連因子であるジンバイリン (Zn) の作用を解析する実験系を構築しました。その結果、歯周病がアルツハイマー病の発症に関与することを明らかにしました。また、その結果がマウスモデルでも再現されました。武、博也研究グループは、自身の保有知能データベースから、βアログリアの遺伝子発現データと、βアログリアの遺伝子発現パターンを解析し、中核神経系の研究・開発を行う企業と共同で本発表を行いました。βアログリア (Amyloid β) は、AD (Alzheimer's disease) の主要な原因因子であり、βアログリアの遺伝子発現パターンを解析することで、βアログリアに対する作用を解析しました。

脳内に蓄積するβアログリアは、β分泌素によって産生され、正常な脳内では、βアログリアの産生が抑制されています。歯周病でも、脳内ではβアログリアの産生が増加しています。ジンバイリンはβ分泌素の産生を抑制します。一方、βアログリアはβ分泌素の産生を促進し、β分泌素の産生を抑制する作用があります。βアログリアの産生を抑制する作用は、βアログリアの産生を促進する作用と相反する作用です。武、博也研究グループは、βアログリアの産生を促進する作用を解析し、βアログリアの産生を抑制する作用を解析しました。このことから、βアログリアの産生を促進する作用と、βアログリアの産生を抑制する作用との間で、βアログリアの産生調節が行われることが明らかになりました。本発表は、2017年9月15日(月)午前10時(東夏時間)に「歯周病研究(Symposium)」においてオンライン発表されました。なお、本発表は収録されています。

研究発表のひとこと: 歯周病関連因子であるβアログリアは、βアログリアの産生を促進する作用を有しますが、βアログリアの産生を抑制する作用を有するβ分泌素の産生を促進する作用を有することによって、βアログリアの産生を調節する作用を有することが明らかになりました。武、博也研究グループは、βアログリアの産生を促進する作用と、βアログリアの産生を抑制する作用との間で、βアログリアの産生調節が行われることが明らかになりました。

【お問い合わせ先】 九州大学大学院歯学研究所 武 栄康 博也 博
 電話 092-863-3111 FAX 092-863-3114
 Mail: info@kyushu-u.ac.jp URL: http://www.kyushu-u.ac.jp

認知症 歯周病で症状悪化

歯周病が認知症の症状を悪化させる仕組みを、国立長寿医療研究センター(愛知県大府市)、名古屋市立大学などの研究グループが解明した。歯周病菌の出す酵素が、脳内に蓄積するβアログリア(βアミロイド)の産生を促進し、認知症の悪化を招くと考えられている。

脳の「ゴミ」増える

長寿医療研など仕組み解明

βアログリアは、β分泌素によって産生され、正常な脳内では、βアログリアの産生が抑制されています。歯周病でも、脳内ではβアログリアの産生が増加しています。ジンバイリンはβ分泌素の産生を抑制します。一方、βアログリアはβ分泌素の産生を促進し、β分泌素の産生を抑制する作用があります。βアログリアの産生を抑制する作用は、βアログリアの産生を促進する作用と相反する作用です。武、博也研究グループは、βアログリアの産生を促進する作用を解析し、βアログリアの産生を抑制する作用を解析しました。このことから、βアログリアの産生を促進する作用と、βアログリアの産生を抑制する作用との間で、βアログリアの産生調節が行われることが明らかになりました。本発表は、2017年9月15日(月)午前10時(東夏時間)に「歯周病研究(Symposium)」においてオンライン発表されました。なお、本発表は収録されています。

厚生労働省もマウスウォッシュの併用を推奨

「ハミガキを助けるもの」としてマウスウォッシュを併用

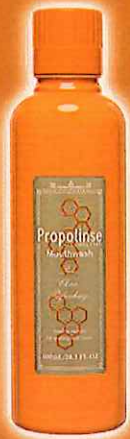
うがいをすることによる口臭予防が期待!

※厚生労働省 健康情報サイト「e-ヘルスネット」より



歯の健康は全身の健康の原点

厚生労働省が推進する「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動で、20本以上の歯が残っていれば、硬い食品もほぼ満足に噛めることが、科学的にも明らかになっており、「歯の健康が全身の健康の原点」と考えられています。21世紀における国民の健康づくり運動として進められている「健康21」の目標項目にも「歯と口腔の健康」が含まれています。



ところで、、、プロポリンスって何???

シリーズ累計 1,500万本[※]以上の販売実績 ※2017年11月現在



生理的口臭とは?

お口の中の汚れや舌苔が原因となる口臭を「生理的口臭」といいます。一般的に朝起きた時が最も強く、夜寝ている間に唾液の分泌が減り、細菌が増殖します。そしてこの細菌が口の中の汚れを分解し、口臭の原因物質が作られるのです。厚生労働省が運営する健康情報サイト「e-ヘルスネット」でも、ハミガキを助けるものとして、マウスウォッシュが推奨されており、うがいをすることで口臭予防や、ブラッシングで取り残されたプラーク中の細菌の増殖抑制が期待できます。

使用後は歯の裏側までツルツルに!

ごびり付いたミクロの汚れや口臭をしっかり洗い流します。



チャ葉エキス[※]に含まれるカテキンがタンパク質と結合

※香味剤

口腔内の
汚れ

磨き残し

歯垢

舌苔

タンパク質を固めて出す!

汚れを落とすメカニズム

お口の中の汚れや口臭は、口腔内に残ったタンパク質が原因のひとつ。大人の口の中には300~700種類の細菌が生息しているといわれており、歯をよく磨く人でも1000~2000億個、あまり歯を磨かない人なら、4000~6000億個もの細菌が住み着いています。そんな細菌が食べカスやタンパク質を分解する時に発生するのが口臭です。そんなタンパク質汚れを、配合成分のチャ葉エキスに含まれるカテキンが結合し、固めて出すから効果的に口臭を予防できるのです。

プロポリンスの主な配合成分



天然の抗菌成分「プロポリスエキス」



口腔内のタンパク質汚れを固めて出す「チャ葉エキス」



歯を美しくする「リンゴ酸」



歯にやさしく、虫歯を予防する「キシリトール」